

気候変動と主に新潟県の植物

(編) 石 沢 進

最近の気候は変化が大きく、時期はずれに暖かくなり、寒さが戻ったりして、急激に変動しているようである。

気候変動によって起こっている様々現象について報ずる論文も公表されてきている。原沢（2007）は「異常気象のもたらす生態系への影響」、山崎 登（2007）は「揺れる四季」というような項目の中で植物の影響について記述している。

身近な我々の身近でも近年の気候変動に伴う植物の変化が生じているように感ずる。近年の異常気候に伴って新潟県で見られる植物の変化について記録しておくことも意義がある。ここでは昨年から今年にかけて、多くの地域で雪無しの冬を過ごし、2月の気温の上昇で、植物が早く動き出したようであり、それに伴うと思われる植物の動きを取り上げてみた。2月に新潟市内の植物に例年より早い活動が感じられた。以下の記録はその一例である。

2/24 新潟市寺尾

〔畑〕ノゲシ（花）、コハコベ（花）、ヒメオドリコソウ（花）、スズメノカタビラ（花）、ホトケノザ（蕾）

〔駅〕ミチタネツケバナ（花）、

2/24 新潟市 東郵便局

〔道路〕ノボロギク（花）、コハコベ（花）、アカミタンポポ（花、果実）、ミチタネツケバナ（花）、オニタビラコ（花）、イヌムギ（蕾）、イヌホオズキ（冬越し）

3/1 胎内市地本 8m

〔田圃畦〕コハコベ（花）、ノボロギク（花）、タネツケバナ（花）、スズメノカタビラ（花）

2月の気温からすべての植物に大きな影響が生ずるようには思われたが、3月に入ってから冬に戻り、寒さが続いたので、植物も動きを停止し、また4月に入ってもそれほど気温が高くならずに経過して特に際立った変化が観察されなかった。しかし、中には一旦動き出した植物が生育を阻止されたことから、正常でない状況も見られる。例えば、フクジュソウなどは2月に開花を始めたのにその後の積雪で被害を受けて、植物体に損傷して、果実の結実も不良である。

5/26 「枯れ木に花」のニセアカシア

新潟地方では、冬の少雪に加えて、春先から初夏にかけ

てしばしば例年よりも強い風が吹き、栽培している植物に被害が及んでいる。多分その強風により、海岸沿いに繁茂しているニセアカシアが、葉のない状態で開花しているのをよく見かけた。いったん芽吹いた後にニセアカシアが強風（寒風）にさらされて、新葉が枯死して枯れ木の状態になって、開花期となり（写真1・2）、枝に葉がなく、花だけが目立つようになったと見られる。「枯れ木に花」となり、例年に見られない状況となったが、完全に枯れ木に至っていないであろう。



写真1



写真2

県内の各地で、植物の開花状況など、例年と異なる現象が起きているようである。8頁以降には、各地から寄せられた報告を掲載し、今後の参考に資したい。また、多くの方々から気候に伴うと見られる植物の生育異常に関する提供をお願いしたい。

新聞報道に見る植物の開花（生育異常）

2007年の春は、暖冬の影響で様々な変化が起きているようであり、草木にも例年の異なる現象が見られるようで、新聞などの情報も様々である。その状況を主に新潟日報と朝日新聞から拾ってみた。それから植物の開花についてまとめると次のようである。また後半に新聞のタイトルと若干の記事内容について掲載した。

植物の開花時期

マンサク	2/ 8
ウメ	2/ 8
フクジュソウ	2/ 9
マツ（花粉飛散）	2/10
タケノコ（新芽）	2/14
スイセン	2/20
ネコヤナギ	2/22
雪割草	3/ 4
紅梅	3/ 5
ミズバショウ	3/17
サンシュ	3/19
シュンラン	3/19
ツバキ	3/19
クロッカス	3/29
ナノハナ	4/ 7
カタクリ	4/10
ノウルシ	4/18
コブシ	4/19
ナシ	4/25
サクラ 東京	3/21
新潟 上越	4/ 2
中越	4/12
下越	4/ 6, 4/12
佐渡	4/10

新聞報道にみる変化（掲載タイトル）

- 寺山・貝津さん宅 マンサクもう咲く 30年生きてこんな冬初めてだよ
[新潟日報 2007年 2月 8日]
- 春告げる佐渡の梅（開花を報道）
[新潟日報 2007年 2月 8日]
- フクジュソウもうお目覚め 新潟・県庁の森
[新潟日報 2007年 2月 9日]
- もう花粉の季節 三条飛散期入り 県観測史上最も早く
[新潟日報 2007年 2月 10日]

- タケノコ真冬に出現
佐渡の民家 麦偃の絵そっくり一所蔵掛け軸「不思議な縁」
佐渡の大蔵さんの家に代々伝わっている、冬のタケノコ堀を描いた土田麦偃の掛け軸の写真と対比させて写真を掲載 [新潟日報 2007年 2月 14日]
- 戻り寒波や病虫害懸念 果樹早くも芽吹き 県内生産者 結実不良 不作の恐れ
[新潟日報 2007年 2月 19日]
- 暖気に誘われスイセン香る 新潟
[新潟日報 2007年 2月 20日]
- フクジュソウもう満開 高遠城址公園 例年より早く
[信濃毎日新聞 2007年 2月 20日]
- 佐渡のネコヤナギ早くも花 佐渡島・高瀬の高台で、春の訪れ連れを告げるネコヤナギが、早くも銀灰色の花を付け始めた（写真掲載）
[朝日新聞 2007年 2月 22日]
- チューリップ生育1週間早め 政令市行事に懸念 出番前散る恐れ 関係者ヒヤヒヤ
早くも7,8センチに伸びたチューリップ（写真掲載）
[新潟日報 2007年 2月 23日]
- 飯山 早くもフクジュソウ 雪の少ない飯山市で開花
[信濃毎日新聞 2007年 2月 23日]
- もう咲いた!! ロトウザクラ 松川町
[信濃毎日新聞 2007年 3月 1日]
- 早春に誘われて 鮮やか雪割草 長岡・小国で山草展
[新潟日報 2007年 3月 4日]
- 欧州も記録的暖冬 スイセン開花・オレンジ収穫量は「半減」・・・
EU 首脳会議 温暖化対策 主要課題に
[信濃毎日新聞 2007年 3月 4日]
- ぽかぽか列島（紅梅の開花やや水遊びの写真を掲載）
[朝日新聞 2007年 3月 5日]
- 紅梅香る ぽかぽか陽気 県内各地 20度突破 一気に開花が進み、甘い香りを漂わせる紅梅＝4日午後、南箕輪村
[信濃毎日新聞 2007年 3月 5日]
- 「しだれ梅」優雅にゆらり 新潟
桃色の愛らしい花を付けた樹齢約120年のしだれ梅＝5日、新潟市川根
[新潟日報 2007年 3月 5日]
- 春芽吹く きょう啓ちつ 南寄りの暖かい風がふいてた新潟市のやすらぎ堤。
チューリップが少しずつ芽吹いてきた（5日、同市一番堀通町付近）
[新潟日報 2007年 3月 6日]
- 暖冬慣れにあたふた 上越で積雪14センチ
[新潟日報 2007年 3月 7日]

- どっさり惚レタス（暖冬で例年より10日以上早く生育）
[新潟日報 2007年 3月 7日]
 - 暖冬の影響で早々に咲きそろった紅梅の花にも雪が積もった 新潟市一番堀通町で（写真掲載）
同紙面に桜の開花予想6～8日早目（第1回発表）
[朝日新聞 2007年 3月 8日]
 - カルストに映える菜の花 中国雲南省東部の羅平県で菜の花満開（写真掲載）
[朝日新聞 2007年 3月 16日]
 - 春を告げる”白い妖精” 五泉ミズバショウ開花
穏やかな気候に誘われ、愛らしい姿を見せるミズバショウ=16日、五泉市水芭蕉公園
[新潟日報 2007年 3月 17日]
 - かれんな花咲き乱れ 群馬 高崎・慈眼寺 サンシュユ見ごろ
[新潟日報 2007年 3月 19日]
 - 春ランまん 上越 多くの人が観賞に訪れた春蘭の展示会（16日 上越市の市民プラザ）
[新潟日報 2007年 3月 19日]
 - なごり雪に梅ブルッ 新潟4センチ 満開の梅の花も雪化粧（写真掲載）新潟市白山公園
[新潟日報 2007年 3月 20日]
 - ツバキ美し 散歩楽しく 新潟一足早く見ごろ（19日、新潟市西船見町の西海岸公園）
[新潟日報 2007年 3月 20日]
 - 湖畔は黄色のじゅうたん（福島潟）
[新潟日報 2007年 3月 28日]
 - 春の香り 甘酸っぱく 田上梅林公園 例年より早く梅見ごろ
[新潟日報 2007年 3月 29日]
 - クロッカス”華” 盛りに 荒川（金屋）
[新潟日報 2007年 3月 29日]
 - ツクシすくすく きょう「清明」寒気でも元気に新潟
[新潟日報 2007年 4月 5日]
 - 春の海に沿いスイセン満開 佐渡
[新潟日報 2007年 4月 6日]
 - 春満開 黄色ぎっしり 福島潟 菜の花見ごろ
[新潟日報 2007年 4月 7日]
 - 角田山 登る道々和む薄紫 カタクリ見ごろ
[新潟日報 2007年 4月 10日]
 - 約10日早く カタクリ開花 関川のキャンプ場
[新潟日報 2007年 4月 12日]
 - ぼくらの散歩道にカタクリ咲いたよ 上越・安塚 好天園児大はしゃぎ
[新潟日報 2007年 4月 14日]
 - 気品漂う白い「妖精」 南魚沼でカタクリ開花
[新潟日報 2007年 4月 14日]
 - 帽子の黄色 一緒だね！ 菜の花が見ごろ 上越
[新潟日報 2007年 4月 17日]
 - ノウルシ 水田縁取る黄緑の美 上越 基盤整備で絶滅危惧
[新潟日報 2007年 4月 18日]
 - 新芽 棚田に鮮やか 上越・安塚区 コゴミ収穫最盛期
[新潟日報 2007年 4月 19日]
 - 恵信尼ゆかり春届く 上越・板倉 ゑしんの里 コブシが見ごろ（掲載写真はコブシでない）
[新潟日報 2007年 4月 22日]
 - 陽光に誘われて 妙高 ミズバショウ開花
[新潟日報 2007年 4月 21日]
 - （新潟）南区大郷 開花したナシ霜害から守れ 早朝に大規模たき火 [新潟日報 2007年 4月 25日]
- サクラに関する新聞報道
- 春本番 いざなう 上越古寺の四季桜 満開
[新潟日報 2007年 3月 2日]
 - 冬衣脱いで桜待ちわび 高田公園冬囲い外し 弥生寒波の影響で雪が降り強風の吹く中、丁寧に外された冬囲い 13日午前9時30分ごろ
[新潟日報 2007年 3月 13日]
 - 全国に先駆け東京で桜開花（同紙面に新潟は来月2日、上越は3日にも）：開花予想掲載
列島トップの早咲きとなった東京の桜（ソメイヨシノ）=20日午後、東京・九段北の靖国神社
[新潟日報 2007年 3月 21日]
 - 東京都心 全国一の早咲き 開花したソメイヨシノ=20日午後3時すぎ（写真掲載）
[朝日新聞 2007年 3月 21日]
 - 一足お先 春満開（薄暮に映える桜の下を散策するひとたち：東京上野公園）
[朝日新聞 2007年 3月 30日]
 - サクラサク、記録的な乱れ 暖冬続き予報ほころぶ もっと知りたい！
[朝日新聞 2007年 4月 1日] 掲載記事登載参照
 - どっと満開（東京・新宿御苑 410本のソメイヨシノが見ごろ）
[朝日新聞 2007年 4月 2日]
 - 薄桃の花弁こんにしは 上越で桜が開花 [新潟日報 2007年 4月 2日]（夕刊）
 - ソメイヨシノ上越市で開花 新潟はほころび始め
[新潟日報 2007年 4月 3日]
 - 川岸に彩り届く 新潟で桜が開花
[新潟日報 2007年 4月 6日]
 - サクラ咲く『青空喫茶』 地元の菓子 桜湯で歓迎
[新潟日報 2007年 4月 6日]
 - 陽気はかばか心うきうき 上越・高田城 観桜会開催 パーレードまで多彩
[新潟日報 2007年 4月 7日]

- ソメイヨシノ相川も開花宣言 新潟地方気象台
[新潟日報 2007年 4月10日]
- 暖冬演出 サクラそろい踏み (群馬県館林市の「野鳥の森フラワーガーデン」で37万株のシバザクラとソメイヨシノが咲き、サクラの共演)
[朝日新聞 2007年 3月10日]
- あでやかピンクに酔う 満開夜桜にぎわい 上越高田公園
[新潟日報 2007年 4月12日]
- 見ごろの桜満喫 悠久山まつり 長岡
[新潟日報 2007年 4月12日]
- 幸せ放つ桜 今年も満開 移植3季目 順調に定着 新大歯学部前
[新潟日報 2007年 4月12日]
- 春の色 風に揺れ しだれ桜週末見ごろ 新潟・東区 (新潟市園芸センター)
[新潟日報 2007年 4月13日]
- 桜に包まれ 真っ盛り 上越
[朝日新聞 2007年 4月13日]
- 桜 乱舞 新潟 強風で散り始め
[新潟日報 2007年 4月15日]
- 待ちわびた風情ここに 小千谷船岡公園 3年ぶり花見
[新潟日報 2007年 4月17日]
- 桜の下 美競う 分水おいらん道中
[新潟日報 2007年 4月19日]
- 散り際去り際 有終の美競演 神林のお幕場大池 桜とハクチョウ仲良く
[新潟日報 2007年 4月19日]
- ウソにもめげず花見給食 佐渡 (鸛崎の内海府小学校)
[新潟日報 2007年 4月20日]

原沢英夫 (2007)

気候変動と生態系の変化. 河川 1月号: 48-51.

山崎 登 (2007)

「異常気象と情報」. 河川 1月号: 59-64.

阿賀町津川のおける積雪期の開花植物

斎藤 久夫

近年の気候は年間を通じて乱れている。今冬 (2007) の少雪は未だかつてない記録で、阿賀町津川で1~2月に積雪が無い状況は、はじめてのことと思われる。こんな中で、例年は雪に覆われ休んでいる草本の中で芽吹き、開花しているものが目に付いた。観察例は少ないが報告する。

1/5 [街の空地]

アカミタンポポ (花)・フキノトウ (芽生え)

2/3 [ハーバルパーク]

マルバマンサク (花)

[新善光寺墓地]

オオイヌノフグリ (花)・オランダミミナグサ (越冬)

[畑]

ミチタネツケバナ (花)・コハコベ (花)・スズメノカタビラ (花)・アサツキ (芽生え)

2/27 [上ノ山区]

ニワトコ (芽吹き)

3/9 [上ノ山区]

ヤブカンゾウ (芽生え)・ヨモギ (芽生え)

3/23 [街の道端]

ヒメオドリコソウ (花)・ツクシ (芽生え)・アカミタンポポ (花)

3/24 [きりん山]

ミチノクエンゴサク (花)・セントウソウ (蕾)・ヒメカンスゲ (花)・オオハナウド (芽生え)・マルバゴマギ (芽吹き)・ヒョウタンボク (蕾)・ケナシヤブデマリ (蕾)・ツルシキミ (蕾)・ナニワズ (花)・オクチョウジザクラ (花)・キクザキイチゲ (花)・ケキブシ (花)・アズマイチゲ (花)・コシノカンアオイ (花)・タチツボスミレ (花)・マルバマンサク (花)

4/6 [きりん山]

カタクリ (花)・ケアブラチャン (花)・ミヤマキケマン (花)・コシノコバイモ (花)・モミジイチゴ (花)

今冬は、1~2月の気候から春の到来が早くなると思われたが、3月に入り寒の戻りがあり、通年の様子に戻った感じがした。

積雪が無くとも、一般的には、活動する植物は少ないが、時には凍る寒さの中で草丈も伸びないのに開花する小さな草たちの繁殖にかける生命力には感服してしまう。

2006年秋の結実不良の植物

写真撮影の目的で阿賀町内での観察をした中で、次の種の結実が不良だったが、これほどの不良年は今までに無かったと思われる。

結実なし (毎年多数結実) ケンボナシ・イイギリ

結実非常に少ない コナラ・ミズナラ・キカラスウリ

魚沼市干溝 (私信より)

富永 弘

干溝の山の雪も、いつもより1月以上も早く全て消える